

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

住友三井オートサービス株式会社（証券コード：-）

【新規】

長期発行体格付	AA-
格付の見通し	安定的
発行登録債予備格付	AA-
国内CP格付	J-1+

■格付事由

- オートリース大手。住友商事、三井住友ファイナンス&リース、三井住友フィナンシャルグループの持分法適用関連会社。業界トップクラスの保有管理台数を誇るなどオートリース業界において強固な事業基盤を有する。長期にわたり安定した利益を確保しており、財務健全性は高い。こうした状況は当面も維持されると JCR はみている。各株主とは経営、営業、資金調達など各面で密接な関係を構築している。各株主における戦略的重要性は高く、各種サポートを受けられる位置付けにある。これらを踏まえ、長期発行体格付を「AA-」、見通しを安定的とした。格付には当社の単体評価をベースに、各株主との結びつきの強さを織り込んでいる。
- オートリース業界における市場地位と競争力は優れている。グループ保有管理台数は約 100 万台と業界トップクラスである。各株主との連携に加えて、地域金融機関や自動車メーカー・ディーラー、損害保険などのパートナーシップを強みに顧客基盤は厚い。自動車業界が CASE（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）への対応を進める中、当社もモビリティサービスを強化し、独自性のある商品・サービスを提供している。こうした取り組みが一層の事業基盤強化につながるか注目していく。
- 業績は堅調に推移している。21/3 期の経常利益は 158 億円（前期比 34.6%増）と過去最高益を更新した。満了車の売却益増加や、SMAS フリートとの合併による経費削減効果などが利益を押し上げた。経常利益ベースの ROA は 1%台後半と良好な水準にある。コロナ禍の長期化による新車リースへの影響には注意する必要があるものの、質を重視した営業資産の積み上げや手数料収益の拡大、コストコントロールの取り組みにより、中期的にも安定した収益力を維持できると JCR はみている。
- 資産の質は良好である。厳格な自己査定を実施するなど保守的な与信運営態勢を構築している。コロナ禍による資産の質への影響は軽微なものにとどまっており、与信費用は低位に抑制されている。残価リスクも適切にコントロールされている。資本充実度は問題のない水準にある。日立キャピタルが保有していた当社株式を自己株式として取得したことで 21 年 3 月末の自己資本比率は 11.8%（前期末 12.7%）に低下したが一定水準を確保している。JCR 調整後の自己資本比率やリスク量対比でみた資本充実度も十分な水準を維持している。流動性に特段の懸念はない。堅実な資金調達方針の下、三井住友銀行を中心に多様な金融機関と安定的な取引関係を構築している。CP や社債発行などの直接調達を通じた調達の多様化も進めている。

（担当）坂井 英和・浅田 健太

■格付対象

発行体：住友三井オートサービス株式会社

【新規】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	1,500 億円	2021 年 10 月 9 日から 2 年間	AA-
対象	発行限度額	格付	
コマーシャルペーパー	2,400 億円	J-1+	

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2021 年 9 月 28 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三
主任格付アナリスト：坂井 英和
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014 年 1 月 6 日) として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014 年 11 月 7 日)、「リース」(2013 年 7 月 1 日)、「親子関係にある子会社の格付け」(2007 年 12 月 14 日) として掲載している。
- 格付関係者：
(発行体・債務者等) 住友三井オートサービス株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
 - 格付関係者が提供した格付対象の商品内容に関する書類
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル